

## 第16回公正取引委員会契約監視委員会議事概要

- 1 日時 平成25年7月23日(火) 14:00~15:00
- 2 場所 中央合同庁舎第6号館B棟19階 公正取引委員会 官房第13会議室
- 3 出席者  
(委員) 小西委員長, 田辺委員  
(会合を欠席した田中委員からは事前に質問が提出された。)
- 4 議事概要
  - (1) 開会
  - (2) 調達案件の審議  
平成24年9月1日から平成25年3月31日までの間に締結した契約のうち, 各委員が抽出した調達案件について審議が行われた。審議の概要は別紙のとおり。
  - (3) 行政事業レビュー及び調達改善計画について  
事務局から委員に対し, 行政事業レビューに係る行動計画並びに平成24年度公正取引委員会調達改善計画の年度末自己評価及び平成25年度公正取引委員会調達改善計画の内容を説明し, 今後の取組への協力を依頼した。
  - (4) 閉会

意見・質問	説明・回答
○ソフトウェアライセンス（アンチウイルス用ライセンス等）の調達	
<ul style="list-style-type: none"> <li>本件は、あくまでも金額で落札者を決定しているという理解でよいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>そのとおり。</li> </ul>
○特許出願に係るデータの調達	
<ul style="list-style-type: none"> <li>特許データ収集というのは、どんなことに費用がかかるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本データ使用料が100万円以上となっており、その他は作業料である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>入札とした場合、基本データを保有している者が断然有利になると思うが、随意契約にして価格交渉する方法は考えられないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札参加資格を持つ業者が複数存在したことから、入札に付することが適当と判断した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>審判中の事案に関する作業を入札に付することは、機密保持の観点から問題ないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開された審判で、被審人が自ら提出したデータを調達の対象としていることから、特に問題はない。</li> </ul>
○平成22年（判）第1号審判事件に係る専門家報告書の作成作業	
<ul style="list-style-type: none"> <li>随意契約理由として「審判の両当事者と利害関係を有さないこと」を挙げているが、具体的にどのようなことか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当委員会内部研究会等のメンバーであるような専門家及び被審人の顧問弁護士等は契約対象から除外している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>本件を随意契約審査委員会で審査しなかったのはなぜか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当委員会の随意契約審査委員会設置要綱により、役務提供の場合は、予定価格が200万円を超える場合が審査対象となっているところ、本件の予定価格は200万円であった。</li> </ul>
○公正取引委員会本局ファイルサーバー容量拡張業務一式	
<ul style="list-style-type: none"> <li>サーバーの容量増加はハードディスクの追加であり、高度な技術が必要とは思えない。また、現在ハードディスクは安価であり、費用の大半は人件費と思われるが、保守業者に発注する必要性があるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当委員会職員が作業することが不可能というわけではないが、現に運用中のサーバーへのパーツの増設であることから、安全を期して専門家に発注した。 発注金額のうち、人件費は2割であり、6割はハードディスク等パーツ費用である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>2テラバイトのハードディスクで市価数万円であり、パーツ費用が100万円を超えるというのはいかにも高すぎるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市販の個人向けのハードディスクと異なり、大規模法人向けストレージ装置のパーツは、多人数が24時間365日使用することを前提に設計された高品質の製品であることから、個人向け製品よりも単価は高くなり、必要数分のパーツを購入すればそれだけ費用もかかることになる。</li> </ul>

・ システム導入の当初契約において、今後の利用状況等を十分に検討していれば、容量拡張は避けられたのではないか。

・ 今後のシステム導入においては、将来的な利用状況等を今まで以上に検討することとしたい。